

Press Release

2014年10月27日

高さ約10mに開く日本初の「移動舞台車」や復活の「火を吹くラッキードラゴン」 11月8日、『Open Storage 2014ー見せる収蔵庫ー』公開初日に特別イベント開催（入場無料）

～鋼材加工工場・倉庫跡を活用、これまで課題とされてきた大型アート作品の制作場所確保・保管・展示を一手に実現～



撮影:沈昭良



一般財団法人おおさか創造千島財団(所在地:大阪市住之江区)は、11月8日(土)から一般公開する「Open Storage 2014ー見せる収蔵庫ー」で、初日19時よりオープニングイベント(入場無料)を開催します。実施に先立ち、前日7日の13時よりプレスプレビューを行います。(取材申込書添付)

約1,000㎡の鉄材加工工場・倉庫跡(所在地:大阪市住之江区)を活かし、大型アート作品を無償で保管・展示する「MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」で初開催となる本展覧会には、国際的にも活躍する現代美術作家5人(宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、やなぎみわ、ヤノベケンジ)が8作品を出展。オープニングイベントでは、本件の企画を担うキュレーター木ノ下智恵子氏(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任准教授)進行によるアーティスト・トークの他、「日本に初輸入した移動舞台車」(10.2×6.5×11.2m)のご開帳+ポールダンスの関西初披露、廃船を回転させる「大阪廻船パフォーマンス」(4×3.8×5.5m)や、水都大阪2009で活躍した「火を吹くラッキードラゴン」(10×4.5×15.3m)が5年1ヶ月ぶりに復活、稼働を果たす予定です。

近年、地域密着型のアートイベントなどで制作されることが多い大型の現代アート作品。しかし、その制作・保管場所の確保は難しく、会期終了後の解体や廃棄を余儀なくされるといった課題をアーティストは抱えています。このような状況に一石を投じ、大阪の創造環境の向上に寄与したいとの思いから、約1,000㎡の工場跡を、大型作品を無償で保管・展示する「MASK」へ再生する構想が2012年10月に始動。作品の収蔵を進め、このたび初の一般公開の運びとなりました。なお、本展のタイトルでもある「オープン・ストレージ(*)」は欧米で始められた取り組みですが、日本では大型の現代アート作品を保管・展示する「オープン・ストレージ」は、ほぼ前例がありません。

(*)オープン・ストレージとは、IT業界では外部記憶装置を意味するが、美術界では美術館等の収蔵庫のコレクションを限定的に公開する施設や鑑賞ツアーなどを指す。



撮影:守屋友樹

■重厚長大からアートへ～新たなものづくり拠点を目指して

かつて造船業で栄えたまち、大阪・北加賀屋では現在、近代化産業遺産の名村造船所大阪工場跡地を中心に、「芸術・文化が集積する創造拠点」として地域再生を目指す「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」を推進しています。その一環として「MASK」は今後も、通常の感覚や価値観を超越し、人々に驚きをもたらす大型の現代アート作品を保管・展示するとともに、制作場所も提供し、「重厚長大」から「アート」のものづくり拠点へと転換した本拠から新しい価値の創造・発信を目指してまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人おおさか創造千島財団 事務局 担当:北村(090-2301-6311)、緒方
 〒559-0011 住所:大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千島ビル4F
 TEL: 06-6681-7806(平日9:30-17:30) 会期中:06-6681-6170 / FAX:06-6681-6188
 Email:kev@chishimatochi.com http://www.chishimatochi.info/found/

■オープニングイベント詳細

日時:11月8日(土) 開始時間:19:00～

会場:MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 住所/大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48

四つ橋線 北加賀屋駅から徒歩 10 分 http://www.chishimatochi.info/found/?page_id=924

19:00 アーティスト・トーク(出演者:全アーティスト、芝川能一[おおさか創造千島財団理事長]、進行:木ノ下智恵子)
 *客席を用意しますが、20:00 頃からツアー形式で作品を見て回り、順次以下のパフォーマンスを行います。

21:00 頃 イベント終了

オープニングイベントに先立ち、前日 7 日(金)の 13 時よりプレスプレビューを行います。報道関係者のみなさま、
 ぜひ取材いただきますようご案内申し上げます。(取材申込書添付)

■《大阪廻船》廻船パフォーマンス (久保田弘成)

《大阪廻船》は、MASK にて制作され、2013 年 3 月に名村造船所跡地で発表された、北加賀屋と縁の深い作品です。

作家自身による廻船パフォーマンスでは、演歌にあわせて、廃船となったプレジャーボート(長さ 5.5 メートル、重さ 800kg)を豪快に回転させます。

共催: 名村大人遊園地 2014



■ファイヤーパフォーマンス (ヤノベケンジ)

《ラッキードラゴン》は水の都の復活を掲げたイベント「水都大阪 2009」を機に制作されました。大阪の水辺を縦横に走り回り、火や水を噴くパフォーマンスで、大きな話題となりました。

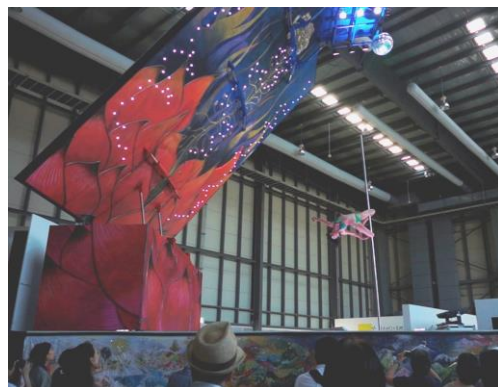
MASK では、今年 10 月の京都市役所前でのパフォーマンスで話題を呼んだ《ジャイアント・トラヤン》との共演によるダブル・ファイヤーパフォーマンスが初めて実現します。



ジャイアント・トラヤン 撮影:豊永政史

■《『日輪の翼』上演のための移動舞台車》ご開帳+ポールダンス (やなぎみわ)

やなぎみわ最新作となる移動舞台車は、『日輪の翼』(和歌山県出身の作家・中上健次の小説)の演劇公演の舞台装置であり、独立した美術作品です。台湾独自の文化である舞台車はタイワニーズ・キャバレーとも言われ、照明・音響・カラオケ等の機能を備えたレンタルステージ。日本の「デコトラ」のように、過剰な装飾や、派手な電飾が特徴です。今回、やなぎ氏によってデザインされ、台湾の工場に特注された〈移動舞台車〉は、今年横浜で開催された「ヨコハマトリエンナーレ 2014」にて日本初披露されました。今後は稽古期間を経て、『日輪の翼』演劇公演の舞台装置として、全国を巡回します。



ポールダンサー:まりりん 撮影:三谷 正

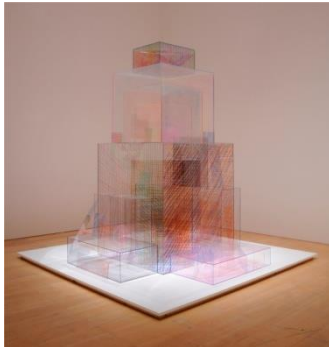
参加作家(50音順)・展示予定作品一覧



宇治野宗輝

1964年東京生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科卒業。
90年代より、電飾や、電動ドリルなどの本来楽器とは関係のない電気製品を用いサウンドスカルプチャーを制作。また作品を使ったライブ・パフォーマンスも国内外で行う。
2013年「UJINO POP/ LIFE」彫刻の森美術館、「ビー・ア・グッド・ボーイ」山本現代など個展を開催。

《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD》 ※車両部分のみ収蔵・展示
2010-2013 wood furniture, household electric appliance and other media Dimensions variable



金氏徹平

1978年京都生まれ。2001年京都市立芸術大学在籍中にRoyal College of Art(ロンドン)交換留学。
2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。
おもちゃ、プラスチック製品、印刷物など、日常にあるものを用いコラージュの手法で制作を行い、「流動性」を表現する。「あいちトリエンナーレ 2013」、「KYOTO EXPERIMENT2014」などパフォーマンス・グアーツの舞台美術設計にも精力的に取り組んでいる。

《Model of Something #6》
2013 oil based marker on acrylic boxes and boards Dimensions variable
copyright the artist/courtesy ShugoArts



久保田弘成

1974年長野生まれ。武蔵野美術大学大学院修了。
土地の歴史や風土を反映させた、自然崇拝的祭礼を原型にし、車や漁船を用いた彫刻やインスタレーション、パフォーマンスを発表。財団法人ボーラ美術振興財団助成金、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランス、ドイツにて活動し、ヨーロッパ各地、アメリカ、メキシコ、中国等で制作発表を行う。
2013年、「IRON∞MAN」クリエイティブセンター大阪では、MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)にて滞在制作を行い、新作を発表。

《大阪廻船》
2013 プレジャーボート、鉄、エンジン、ステッカー 400×380×550cm



やなぎみわ

1990年代後半よりCGや特殊メイクを駆使した写真作品を発表し、国内外での個展多数。
2009年、第53回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表に選ばれる。
近年は演劇プロジェクトを始動。新興芸術運動の揺籃期を描いた「1924」三部作を、美術館と劇場双方で上演したことで話題を集めた。
昨年上演した「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」は、2015年北米ツアーが決定。
現在、ヨコハマトリエンナーレ 2014では台湾製の移動舞台車を展示中。

《『日輪の翼』上演のための移動舞台車》
2014 1,021×652×1,129cm(展開時)



ヤノケンジ

1965年大阪生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。
1990年初頭より、「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに実機能のある大型機械彫刻を制作。創作の原点は、幼少期に遊び場で過ごした大阪万博跡地「未来の廃墟」。21世紀の幕開けと共に、制作テーマを「リヴァイヴ」へと移行。2011年震災後、希望のモニュメント《サン・チャイルド》を国内外で巡回。「瀬戸内国際芸術祭 2013」、「あいちトリエンナーレ 2013」などに出品。

《サン・チャイルド》
2011 FRP、鉄、ネオン、他 620×444×263cm

“芸術の超越力を魅せる収蔵庫”

かつて、重厚長大産業の集積地へと発展を遂げ、高度経済成長の終焉期からはエレクトロニクスやソフトウェアなどの軽薄短小産業へのシフトに伴い、その隆盛が衰退してもなお、工業地帯の原風景が芸術の創造力を刺激する“北加賀屋”。時代の変遷を物語るこの地において、本格的な“魅せる収蔵庫”のプロジェクトが始動する。

国内外の芸術環境は、国際展やアートプロジェクトなどの発表機会が盛んになる一方で、その制作環境や発表後の作品保管の課題は大きい。展覧会では、作品の現代性による理由だけではなく、輸送や設置コスト面でポータブル化が可能な映像作品が台頭し、その場限りの作品や事後の破棄を余儀なくされる事例も少なくない。さらに若手アーティストの公募展や企画展では、重厚長大な彫刻・立体作品は希有であり、制作技術も衰退を見せ始めている。特に日本においては、重厚長大な彫刻や複雑な構造の“スカラプチャー”や“インスタレーション”は、絶滅危惧種的存在であるといっても過言ではない。

他方、企業のコアビジネスにおけるデータ量の増加に伴い、保存環境のコスト削減が重要課題とされる現代においては、“開かれた外部記憶装置”を意味する“オープン・ストレージ”のシステムが開発された。また、美術界では同じ言葉を用いて、収蔵庫のコレクションを研究・鑑賞などの目的で限定的に公開する施設やシステムがある。ただし、日本においては大型の彫刻作品やインスタレーションの“オープン・ストレージ”は皆無に等しい。

奇しくも、時代の最先端をいく軽薄短小産業のIT業界の“外部記憶装置”と、“重厚長大型作品の収蔵と公開”という2つの意味を孕む、重工業地帯における“オープン・ストレージ”では、近現代の時代的考察や社会的課題についても独自の哲学をもち、彫刻作品の概念を拡張するアーティストと共に、“芸術の超越力を魅せるプロジェクト”を推進する。そして、北加賀屋の場所性・歴史・環境と呼応しつつも、“特異な場所の機能”を批評的に捉えた先駆的取組みとして、時間を重ねていきたいと考える。この試みの重層によって、本拠が、古い過去の文脈や価値観を新しい視座で見つめ直し、さまざまな“既存”を超越するアートの力を象徴する、恒常的な磁場となり得ると、信じてやまない。

本企画キュレーター 木ノ下智恵子

(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任准教授)

Open Storage 2014ー 見せる収蔵庫ー開催概要(添付チラシ参照)	
会期	2014 年 11 月 8 日(土)ー9 日(日)、14 日(金)ー16 日(日)、21 日(金)ー24 日(月・祝)
開場時間	13:00ー19:00 ※イベント・プログラム開催時は変動 【入場無料】
会場	MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 住所:大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48

【その他のイベント・プログラム】(予定)

11 月 8 日(土)、14 日(金)、16 日(日)

金氏徹平による新作公開制作

11 月 24 日(月・祝) 15:00～ クロージングイベント

展示作品関連パフォーマンス



「MASK」パフォーマンス (出演:Bravo, Ujino & The Rotators)

宇治野宗輝とブラボー小松 (Guitar) のユニット、Bravo, Ujino & The Rotators による、展示作品「THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD (car section)」を使用したライブ・パフォーマンス。

ブラボー小松 プロフィール:

東京ブラボー〜フィルムス〜MELON と80年代のトーキョー・ニューウェイブの代表的なバンドでギターを弾き渡り、アーバンギャルド・安齊 肇(ソラミスト)・吉川晃司・鼓童・沢田研二・紗羅マリー・ちわきまゆみ・電気GROOVE・戸川純・ピエール瀧とベートーベン・PIZZICATO FIVE・三波春夫・山本精一・RAM RIDER などのライブやレコーディングで、現在もギターを弾き渡り中!

※開催時間、内容など詳細は当財団ウェブサイトに掲載します。www.chishimatochi.info/found/

【MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 概要】

鋼材加工工場・倉庫として使われていた建物をそのまま活用。

床面積 約 1,030 m² (52.5×19.5m)、高さ 9.25m。

事務所跡を改装したホワイトキューブ(展示スペース)と簡易レジデンスを併設。

当財団の設立者である千島土地(株)は、2009 年より近代化産業遺産の名村造船所大阪工場跡地を中心に、保有する工場跡や空き家を創造的に活用することで「芸術・文化が集積する創造拠点」として地域再生を目指す「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」に取り組んでいる。

当財団は、本構想の一環として、2012 年より MASK を始動。



撮影:守屋友樹

■団体概要

名称	一般財団法人(非営利型) おおさか創造千島財団
代表者	理事長 芝川能一
設立	2011 年 11 月 1 日
基本財産	300 万円
年間事業費	約 2,000 万円(全額を千島土地グループより寄付)
事業内容	創造活動に対する助成事業、北加賀屋における創造環境整備事業